

再掲：良いパスワードの条件

- 手軽に作れる（あなたが作る気になる）
- 思い出せて忘れにくい（あなたが使う気になる）
- 忘れても復活できる手段がある
 - **条件1 あなたが使いやすい**
- 文字列が長い（概ね8文字以上）
- 文字種類が多い（概ね3種類以上）
- 辞書にそのまま載っていない
- 単純な規則でない（111111、123456、qwertyは不可）
- そのままメモに残さない
- 個人情報を含まない
 - **条件2 他人にばれにくい**
- 他のパスワードと同じにしない（使いまわししない）
 - **条件3 万一ばれても被害が少ない**

注目すべき回答

3. 何らかの方法で基本のパスワードを決めて、次に、それを変形して様々なパスワードを作る。

変形方法の例

- （前略）次に、先程作った基本パスワードの前に「amzn」というAmazonの頭文字をとって入れます。こうした変形をすれば、一つの基本パスワードをもとに、いろいろなところで使う別々のパスワードを簡単に作れます。
- 1.～3.に共通する発想 = 2段階に分ける
「まず～を決めて、次にそれを～する」
- 回答をもとに総合提案を出します。

提案 1：基本のパスワードを作る

- 基本のパスワードを2段階で作る

1. 自分が忘れにくい2〜3文字の漢字単語を決める。
できるだけ個人情報（氏名など）を避ける。
例：品川
 2. 各文字を、音、意味、字形、の何れかで読み替える。
 - a. 音を語呂あわせして「非数字→数字」で読み替える
し → 4
 - b. 漢字図形あわせして「日本語→英語」で読み替える
川 → 3lines とか threesticks
 - c. 意味あわせして「日本語文字→英語」で読み替える
川 → river
 - d. 漢字図形を分解して「漢字→別の文字・図形」で読み替える
品 → □ □ □ → 3boxes とか threekuchi
 - e. 漢字音を読み替える
品（しな）→ ひん → hin
 - f. あえて読み替えない（そのままローマ字で表記）
な → na
- 例：品川 → 4na3lines これで基本のパスワードが完成

提案 2：様々なパスワードに変形する

- 提案 1 の基本のパスワードを使い先に合わせる。

1. 使い先を意味する1文字を決める。
アルファベットの頭文字で可。
例：Yahoo! → Y
清泉女子大学 → S
LINE → L
2. その1文字を基本のパスワードに混ぜる。
できれば先頭を避けるべきだが、面倒ならば先頭でも可。
例：Yahoo! → Y4na3lines
清泉女子大学 → S4na3lines
LINE → L4na3lines

これで各サービスごとに別々の安全なパスワードが完成

- どうしても提案 1 が面倒な人は、今使っているパスワードに提案 2 だけを付け加えても構いません。提案 1 をやらないとかなり弱くなりますが、今のまま使いまわすよりは安全です。